

第2回大田区景観まちづくり賞（景観づくり活動部門）に選ばれました！

平成30年5月30日 大田区より表彰されました。

活動概要

連合会では、平成6年（1994年）に環境委員会を設置し、定期的に島内一斉清掃を実施するとともに、道路の緑地帯等の清掃やプランター（20基）の植栽管理を実施し、連合会所属企業全社をあげて環境美化活動に取り組んでいます。また、樹木に由来する道路名称（さざんか通り、もみじ通り、さつき通り等）を付ける取り組み、島内企業の高度な技術により製作された独自の柵の設置、女子美術大学の大学生（総勢121名）による砕石置場の擁壁への壁画作成などの取り組みも行ってきました。



表彰理由

臨海部の環境美化活動を高く評価する。工業地帯という、一見すると景観価値を重視されない、各企業にもメリットが薄いと思われる地域で、継続的な景観向上活動が組織的に行われていることは特筆に値する。

企業がまとまって、地域の緑地、環境の整備、景観向上に長年取り組んでいる姿勢が素晴らしい。

表彰式の様子→



大田区からの助成金のご案内

京浜島の企業の皆さんも活用可能です！！

大田区ものづくり工場立地助成金	大田区工場アパート立地助成金
<ul style="list-style-type: none"> ●対象者：区内で3年以上継続して同一の業種を営む中小企業者、区外で3年以上継続して区が定める業種を営み区内での操業を希望する中小企業者、区内の貸工場所有者 ●対象事業：500万円以上の工事等（従業員20名以下の企業に限り、100万円以上） ●対象経費：工場の移転費用、新增設等費用、区が定める建物付帯設備（キュービクル、エアコン、クレーン等）及び関連施設の整備 ●補助率：1/3 ●補助限度額：1,000万円 ●助成金の交付：3年間に分けて交付（※対象経費500万円未満の場合、一括交付）（年度ごとに操業状況を確認し交付。1年目 1/2、2年目 1/4、3年目 1/4） ●URL： www.city.ota.tokyo.jp/sangyo/kogyo/joseikin/ricchijosei.html 	<ul style="list-style-type: none"> ① 集合型工場アパート 定義：所有者が入居しない工場アパート 要件：貸工場の作業場面積が2,000㎡以上で、5社以上が入居するもの ② 地域中核工場アパート 定義：自社工場に貸工場を併設させた工場アパート 要件：貸工場の作業場面積が200㎡以上で、2社以上が入居するもの ●対象者：区内で工場アパートを経営しようとする者、区内で3年以上継続して同一の業種を営む中小企業者、区外で3年以上継続して区が定める業種を営み区内での操業を希望する中小企業者 ●対象事業：5,000万円以上の工事等 ●対象経費：工場アパートの新增設等（既存の建物の改修工事を含む） ●補助率：1/4 ●補助限度額：5億円 ●助成金の交付：10年間に分けて交付（年度ごとに操業状況を確認し、1/10ずつ交付する） ●URL： www.city.ota.tokyo.jp/sangyo/kogyo/joseikin/ricchijosei.html

まずはお電話ください！
担当者が訪問し、お話し伺います。
【問合先】一般社団法人日本立地センター
TEL：03-3518-8966

発行

京浜島工業団地協同組合連合会

大田区 産業振興課 工業振興担当
都市計画課 計画調整担当

京浜島 ニュース

Vol.6
2018/7

東京都京浜島工業団地協同組合連合会では、大田区と協働して平成27年度から「京浜島まちづくりビジョン」の検討に着手し、「京浜島で働く魅力をも高める～京浜島の魅力・再発見 Rediscovery in 京浜島～」を目標に掲げ、具体的に事業を展開してまいりました。

本ニュースでは、改めて「京浜島まちづくりビジョン」についてご説明するとともに、これに基づいて実施してきた取組や今年度の取組についてお知らせいたします。

京浜島まちづくりビジョン・アクションプランについて

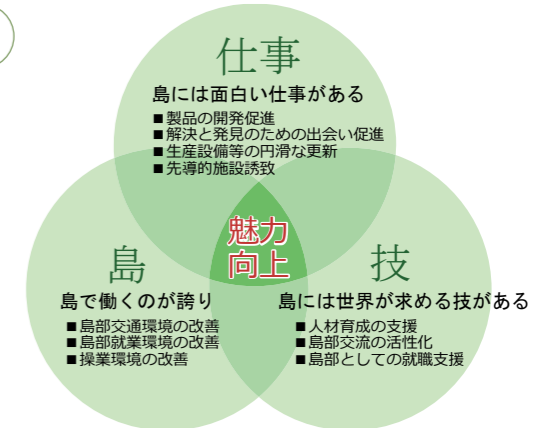
「京浜島まちづくりビジョン」とは、京浜島のまちの目標像並びにその実現のために取り組むことを記載した構想です。

京浜島立地企業の課題から導き出した 京浜島の将来像

京浜島で働く魅力をも高める

～京浜島の魅力・再発見 Rediscovery in 京浜島～

- 京浜島で培われてきた技術力・人材を掘り起こし、魅力（「仕事」「島」「技」）を「再発見」する。
- 「仕事」「島」「技」の魅力をも高め、若い人にとっても働きたいと思える、魅力的な京浜島を生み出していく。
- 島全体で採算性、創造性、社会性、継続性を高め、世界から注目を集める京浜島ブランドを磨いていく。



京浜島のアクションプラン（当面取り組むこと） ★マークは取組中のもの

仕事	島	技
<ul style="list-style-type: none"> ・島内企業情報の集約・発信★ ・顧客ニーズ把握 ・製品開発の土台づくり★ ・センターコアゾーン整備に向けた調査・研究★ ・工場の円滑な更新手法の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路環境の調査 ・既存バスの増便に向けた調整★ ・美しい京浜島スポットの調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・匠（技術者）のPRによる京浜島ブランドの向上 ・京浜島オープンファクトリーの実施★ ・島内交流イベントの実施 ・拡大京浜島オープンファクトリーの実施

昨年度は、「京浜島まちづくりビジョン・アクションプラン」に基づき、主として以下の取組を行いました。

～「京浜島まちづくりビジョン検討会」の平成29年度の活動内容～



➡ 2～3Pではアクションプランの取組について、内容をご紹介します。

京浜島センターコア構想案について

京浜島まちづくりビジョンにもとづき、アクションプラン（当面取り組むこと）の一つとして、京浜島の中心部の今後の在り方についてまとめた「京浜島センターコア※構想案」を作成しました。今後は、構想案を参考に勤労者厚生会館を所有する東京都との話し合いを進めていきます。

※島の中心に位置する京浜島勤労者厚生会館、京浜島会館、京浜島防災公園を「京浜島センターコア」と名付けています。

【京浜島中心部(京浜島センターコア)の現在の役割】

【京浜島勤労者厚生会館】

- 体育館・テニスコート
- 食堂
- 大・小会議室
- 和室・サークル室
- 郵便局・信金
- 共用空間
- 駐車場

【京浜島会館】

- 連合会事務局
- 会議室
- 食堂
- 診療所
- 商工組合中央金庫 など



【京浜島防災公園】

- 公園・レクリエーション機能
- 災害時の避難場所（災害対応機能）

【未来に向けた展望】

■京浜島センターコアへの導入機能（案）

①集積促進 ～操業環境の向上 技術力の島部再興～	②製品開発・研究支援機能 ～新しいニーズに応える製品 の共同開発～	③人材・交流機能 ～従業員コミュニケーション の促進～	④仕事拡大機能 ～新しい仕事の創造～
<ul style="list-style-type: none"> ・島部操業環境の向上（生産、交通等） ・仲間回しの効果的な活用 ・島部活用可能な土地の利用(種地として) 	<ul style="list-style-type: none"> ・島内企業の技術を活用して製品を開発したい企業と島部企業の交流、誘致 ・島の技術と島外企業のアイデアが融合する京浜島の研究開発拠点 	<ul style="list-style-type: none"> ・島内技術者の交流・技術サロンの促進 ・自由な意見・情報交換の場として機能（カフェなどのイメージ） ・島内技術の展示機能も兼ねる 	<ul style="list-style-type: none"> ・島内企業の共有可能な営業情報が集まる場 ・連合会事務局を中心に島内商社系企業が参加し、情報を交換 ・ニーズを知る島外企業とも連携（交流や入居）

1) 立地支援

- 工場アパート
- ものづくり工場立地助成
- 創業支援施設
- 貸工場・工業用地マッチング事業



3) 人材育成支援

- 大田区の工匠 Next Generation
- 次世代ものづくり人材育成事業
- 産業のまちスクール
- 経営技術指導講習会
- ものづくり教育・学習フォーラム

2) 連携支援

- 研究開発マッチング
- 医工連携支援
- 産学連携支援
- 新製品・新技術コンクール

4) 取引促進支援

- 受発注相談会
- 海外展開支援
- 展示会（おおた工業フェア、おおた研究・開発フェア等）

緑文字：大田区の産業支援策



今年度（平成 30 年度）の取組は、以下のことを実施していく予定です。

取組 1 島内道路環境についてのアンケート

8
月頃

島内では道路環境の改善、特に昨年度実施した「京浜島ビジョン説明会」でも意見が出されました島内企業従業員の利用する駐車場不足への対応が求められます。そこで、今年は駐車場需要を把握するためにアンケートを実施いたします。

今後の皆様の操業環境改善のための大切な資料となりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



取組 2 横の連携に取り組む企業の事例視察

9
月頃

島内の企業同士の技術力をあわせて、共同で製品の開発に取り組むといった事例もみられはじめています。こうした取組が「稼ぐ京浜島」の実現につながっていくことが期待されます。

平成 27 年度には、「開発型中小企業集団 まちだテクノパーク」を訪問視察し、企業間の連携状況やその成果を伺いました。今年度も、このような企業同士が連携する取組の視察を予定しています。

<平成 27 年度視察実施> まちだテクノパーク



<視察候補（一例）>

東京町工場ものづくりのワ

- 足立区と江戸川区にある同業種 3 社が連携して実施して、右記のような 4 つの取組を展開。
- 技術開発・イノベーションと人材育成を促進。

■つながる町工場プロジェクトの取組

- 取組① 3 社協働のものづくり
- 取組② 技術の深化
- 取組③ 人材育成
- 取組④ 業務効率化・システム構築

資料・東京町工場ものづくりのワホームページより作成

取組 3 島内交流を深める京浜島オープンファクトリー

12
月頃



今年も4回目の京浜島オープンファクトリーを実施します。

「京浜島オープンファクトリー」※略称 KOF は、かつて島内で見られた「仲間回し」や、「島内交流（顔が見える関係づくり）」を活発化させることを目的としています。

まずは“お隣さん”を知り、「従業員同士」の自然な交流から、今後、企業同士の「新たな事業連携」が期待されます。外部の学生等へも声かけ予定です。この機会に、ぜひ、ご参加ください

これまでの京浜島オープンファクトリーの様子